

なんでもQ&A

インターコムをこれから使おうと思っているライダーはもちろんのこと、今使っている人も「どうなっているの?」「どうしたらいいの?」という、疑問が少なくないことだろう。今回はそんなセナ・インターコムにまつわる疑問のなかから、代表的なものを取り上げてみた。これ以外にもセナのインターコムで分からないことは、ホームページやユーチューブもチェックしてみよう。

文／八百山ゆーすけ
問：セナBluetoothージャパン <https://senablueetooth.jp>

購入後

Q.3 アップデートするメリットは何ですか?

A ファームウェアのアップデートにより、**機器互換性の改善、バグ修正、新機能追加が行われます。**

セナでは常にファームウェアの改良を行って、ホームページ上で最新版を公開している。ファームウェアの改良は、スマホのOSの更新に対応するほか、新しい機能の追加や、インターコム・Bluetooth機器間の接続不良といった不具合の解消、音質や操作性の向上といったメリットばかり。数カ月に一度程度のペースで更新されるので、定期的な確認とアップデートをオススメしたい。



Q.4 インカムの清掃方法は?

A 湿気が電子機器の大敵!

ヘルメットに取り付けて使われるインターコムは風雨にさらされ、気温の寒暖の差の影響も受けるなど過酷な環境にある。原則として防水仕様で雨には強いが、とはいえ電子機器ではあるため湿気が大敵。使い終わったら乾いた布などで本体の水滴や汚れをしっかりとふき取るようにしたい。また、コネクタから湿気が中に入ってしまうため、コネクタ周辺は念入りに清掃しよう。



Q.5 取り扱ううえでやってはいけないことは?

A タフな環境で使うインターカムですが、あくまで「電子機器」であることを忘れずに!

インターカムも電子機器のひとつ。本体を付けたヘルメットを置く際に強い衝撃を与えないように注意するほか、マイクやスピーカーケーブルを引っかけたりしないように注意したい。また、防水仕様とはいえ、USBコネクタのキャップが完全に閉まっていない時など、浸水する可能性が大きく高まるため、出発前にしっかり確認が必要。強い雨の時には操作を減らすなどすることで長持ちにつながる。また、カメラ付きモデルは寒暖差によるレンズ内の結露に注意。



Q.2 インカムの買い替え時期の目安はありますか?

A 中には10年同じSENAインターカムを使用している人も!

物理的な破損や、バッテリーの経年劣化がない限り、かなり長く使い続けられると思っています。なかには1台を10年近く使い続けているユーザーもいるとか。さらに、ファームウェアを適宜更新することで、常に最新の機能を使うことができる。また、セナでは通常2年、クワンタムシリーズは3年の製品保証が付帯。保証期間外でも技術サポートがあるから、安心して使い続けることができる。



Q.1

同時に何がインターカムにつなげられますか?

A 基本、スマホなどの周辺機器2台。それ以外にインターカム



原則としてBluetooth機器を2つ接続できる。例えばスマホとBluetooth対応レーダー探知機といった組み合わせや、スマホ2台の同時接続も可能だ。さらにプロファイルを選択して機器を接続することで、例えばHFP接続のスマホ1台と、A2DP接続のWalkman、さらに2台目のスマホ、というように3つの機器を使うこともできる。また、Bluetooth機器の代わりにユニバーサルペアリング機能で他社のインターコムを接続することも可能だ。

購入&買い替え

セナのホームページやユーチューブもチェック!

また、もうひとつ多いのが「今持っているインターコムがいつまで使えるか」ということ。その答えは、正しく手入れしていれば、長く使うことができる、と言える。ただしバッテリーは充電回数により劣化が進んで使用時間が短くなったり充電できなくなったりすることもある。その場合は、買い替えの目安となるだろう。

当然ながら、長く使い続けるうえで大事なのは日頃の手入れと取り扱いだ。インターコムはヘルメットに取り付けて使うだけに、雨の中を走ると濡れてしまう。セナのインターコムを導入する前の疑問で多いのは、やはり「インターコムにはどんな機器が何台つながられるか」ということ。セナのインターコムの場合、通話相手となるインターコム以外に、原則としてスマホとBluetooth機器も1台が接続できる。ちなみに、セナと他社製インターコムは、あくまでもユニバーサルインターコム機能を使って、スマホと同じような扱いの機器の1台として接続する。セナ同士のように接続できないのは、インターコム通話のシステムは各社が独自の技術を取り入れているからなのだ。

また、ここまで紹介したものでなく、セナ・インターコムにまつわるさまざまな疑問に対しては、セナ・Bluetoothージャパンのホームページやユーチューブ上で多くのヒントや答えが載っている。分からないことがあったら、まずはチェックしてみよう。

のインターコムは原則として雨水は浸水しない構造にはなっているが、コネクタの周囲などに水分が残っていると、湿気となって内部に入り込み、トラブルの原因となることもある。日頃から一日走り終わったら、乾いた布などでいねいに吹いて水分や汚れを取り除いておくようにしよう。

また、ファームウェアの更新で、インターコムをソフトウェア的にリフレッシュすることができる。セナでは発売後のインターコムについても、日々、改良や新機能を追加するといった開発を行っている。それをユーザーにファームウェアという形で提供している。ファームウェアを更新すれば、それまでの不具合が解消したり、使い勝手が向上するなど、得することはない。また、新しいファームウェアにより新しい機能が追加できるのは、オーナーとしても嬉しい限りだ。

ここまで紹介したものでなく、セナ・インターコムにまつわるさまざまな疑問に対しては、セナ・Bluetoothージャパンのホームページやユーチューブ上で多くのヒントや答えが載っている。分からないことがあったら、まずはチェックしてみよう。